

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 5 月 21 日現在

機関番号：13901

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2009～2013

課題番号：21252007

研究課題名(和文) 発展途上国教育研究の再構築：地域研究と開発研究の複合的アプローチ

研究課題名(英文) Reconstruction of Educational Research in Developing countries: Integrated approach of area studies and development studies

研究代表者

山田 肖子 (Yamada, Shoko)

名古屋大学・国際開発研究科・准教授

研究者番号：90377143

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 24,700,000円、(間接経費) 7,410,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、実践や学問観が多様化する比較教育学に関し、学問観を整理、マッピングするとともに、異なる研究アプローチを持つ者がチームでフィールドワークを行った。

成果として、「比較教育学の地平を拓く：多様な学問観と知の共働」という本(分担者の森下稔氏と共編)を刊行した(平成25年3月、東信堂)。

また、共同フィールドワークは、モルディブ国で4回にわたって行われ、その成果は平成25年2月に、モルディブ国における成果報告会で発表された。この報告会は、教育省主催で行われ、強い関心を集めた。モルディブ調査に関係した研究者が個別に論文を投稿したほか、25年度に繰り越した予算で和文での報告書も作成した。

研究成果の概要(英文)：This research project had mainly two components: one is to review and map out diverse research paradigms and practices which co-exist in the field of comparative education. The second is to conduct fieldwork by grouping researchers with different research paradigms together. For the first component, a questionnaire survey and classification of published articles were conducted. As the second component, annual fieldwork in the Maldives and Ghana were conducted with participation of 8 scholars altogether.

An edited volume by Shoko Yamada and Minoru Morishita was published in 2003, with the title "Extending the Horizon of Comparative Education: Diverse Perspectives and Intellectual Collaboration" (Tokyo: Toshindo). The outcomes of the fieldwork in Maldives and Ghana were published by respective scholars as academic papers and a workshop was co-hosted with the Ministry of Education, Republic of Maldives, in 2013, to discuss about the findings from the research.

研究分野：社会科学D

科研費の分科・細目：教育社会学

キーワード：比較教育学 研究手法分析 教育開発 地域研究

## 研究開始当初の背景

日本における比較教育学は、地域研究型、開発研究型、制度研究型等、異なるアプローチによる研究伝統がそれぞれ独自に発展してきている。特に 90 年代以降、学会員が急速に増大すると、グローバル化によって研究課題が多様化するのに伴い、比較教育学の学問的中心がどこにあるのか、どのような手法で調査すべき対象に迫ればいいのか、といった学問論が度々行われるようになった。そうした状況を背景に、本調査研究、特に発展途上国を研究対象とする研究者の中でも、現場密着型の「地域研究」と発展途上国の教育サービスの質的、量的向上のために行なわれる国際協力の中から発展してきた「開発研究」を融合することにより、学問観の違いを越えて、調査対象の社会を総合的に分析するアプローチを模索しようとした。

## 研究の目的

複合的な研究アプローチを模索するため、本調査では、既存研究をマッピング、カテゴリー化したうえで、両アプローチの長所、短所を踏まえて、開発研究者と地域研究者がチームになってフィールドワークを行い、各国でのマクロ - ミクロ分析の組み合わせと国別事例の横断的分析により、手法の展開と教育課題への対応を試みた。

本研究では、『初等教育の普遍化(Universal Primary Education : UPE)』といった、多くの途上国で同時に起きている政策変更が、教育行政の末端であり、受益者である村の教育ニーズや実態とどのように整合、不整合を起こしているかについて、「教育開発研究」で主に行なわれる政策や学校サイドの視点と、学校を社会から切り離さず、社会のダイナミズムの中に位置づけて理解しようとする「地域研究」的視点を組み合わせることを目指した。

## 研究の方法

### (1) 既存研究のマッピング

途上国の教育に関する研究が行なわれていると思われる学問領域のうち、比較教育学、国際開発学、地域研究、経済学、社会学などのディシプリンの 4 つを取り上げ、それぞれの領域を代表すると思われる学会誌をそれぞれ過去 10 ~ 30 年分見直し、途上国の教育関連の論文を洗い出し、その傾向分析を行った。

### (2) 学会員アンケート

学会員の研究に対する考え方やアプローチを知るため、成 21 年 11 月に学会員 699 名にアンケートを配布し、研究姿勢やよく使う手法、依拠する理論、調査対象などについて分析を行った。

### (3) 「地域研究者」と「開発研究者」共同のフィールドワーク

本調査では、特定の社会の中で教育がどういう意味、役割を果たしているか、という地域研究的視点と、国際、あるいは国レベルの政策の変動を見た上で、学校教育を提供する行政側からの視点との接点を共有するため、『万人のための教育(EFA)』という国際社会で合意された 6 つの開発目標の中でも、特に『初等教育の普遍化(UPE)』政策の実施状況、社会的影響を共通の調査軸とし、モルディブ及びガーナにおいてフィールドワークを実施した。

## 4 . 研究成果

本研究(特に活動(1)~(3))に基づき、多数の学会発表、論文発表がなされたほか、「比較教育学の地平を拓く：多様な学問観と知の共働」という本(分担者の森下稔氏と共編)が出版された(平成 25 年 3 月、東信堂)。

また、共同フィールドワークは、モルディブ国で 4 回にわたって行われ、その成果は平成 25 年 2 月に、モルディブ国における成果報告会で発表された。この報告会は、教育省主催で行われ、強い関心を集めた。モルディブ調査に関係した研究者が個別に論文を投稿した。

また、25 年度に繰り越した予算で和文での報告書を作成し、比較教育学の学問観に関する座談会の議事録と、モルディブ調査の論文集を掲載した。

## 5 . 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 3 件)

Yamada, Shoko (2014). "Constructs of a Space of Comparative Education: Findings from a Survey of Members of Japan Comparative Education Society and Their Publications". *International Journal of Comparative Education and Development*, Vol. 16, No. 1, pp. 31-48.

山田肖子。『日本の比較教育学における伝統と多様化：学会員アンケートと学会誌掲載論文の傾向分析から』『比較教育学研究』42 号、140-158、比較教育学会、2011 年 1 月。

Yamada, Shoko (2014). "Japanese Educational Aid in Transition: Between the Aid Coordination and Unique Model." Special issue on Emergence of New Donors and Paradigm Shift in International Educational Aid: Exploring Asian Uniqueness and

Diversity (Issue editor: Shoko Yamada). Asian Education and Development Studies, Vol. 3, Issue 1, pp. 76-94.

〔学会発表〕(計 19 件)

モルディブ国教育省主催セミナー  
"Comparative Education Research Seminar in Maldives"

- 森下稔 "Education in Maldives from the Viewpoint of Comparative Education"
- 川口純 "A Comparative Study on Inclusive Education and Special Needs Education in Maldives"
- 奥田久春 "Locality and Global Trend in Curriculum Development in Maldives: A Comparison of Maldives with Other Island Countries"
- 服部美奈 "Maintaining the Local and reflecting the Global in Islamic Education: A Comparison of the Maldives with Malaysia and Indonesia"
- 山田肖子 "Determinants of the students' performance in the O-level exam in the Republic of Maldives"
- 森下稔 "Challenges for Citizenship Education in Maldives: suggestions from the outcomes of questionnaire"

山田肖子。『地域研究と開発研究の融合に向けた試論：ガーナ国における技術教育と伝統的徒弟制を事例に』日本比較教育学会第 48 回大会。2012 年 6 月 16 日。

森下稔, 服部美奈, 奥田久春, 山田肖子。  
『モルディブにおける学校教育の展開と今日的課題』日本比較教育学会第 48 回大会。2012 年 6 月 16 日。

山田肖子。『学会員アンケートと学会誌掲載論文に見るジェンダー研究』日本比較教育学会第 47 回大会、2011 年 6 月 24 日。

山田肖子・植村広美。「日本における比較教育学の学問論と研究実践：学会誌掲載論文とアンケートによる分析」、日本教育学会第 69 回大会、2010 年 8 月 22 日。

山田肖子、黒田一雄、日下部達哉、植村広美、奥田久春。「比較教育学における途上国研究：これまでとこれから」日本比較教育学会第 46 回大会・ラウンドテーブル企画者。2010 年 6 月 27 日。

Shoko Yamada, Mark Bray (Discussant), Ka-Ho Mok, Minoru Morishita, Kazuo Kuroda. Session "Comparative Education and Shifting Academic Boundaries: Asian Perspectives". 16th World Congress of Comparative Education Societies, June 16, 2010.

Shoko Yamada, Minoru Morishita, Hiromi Uemura, Liu Jing, Norihide Furukawa, Takayo Ogisu, Kazuo Kuroda, Jun Kawaguchi. Session "Comparative Education and Shifting Academic Boundaries: Asian Perspectives." Annual Conference of the Comparative and International Education Society, Chicago, March 9, 2010.

〔図書〕(計 3 件)

山田肖子・森下稔(編著)。『比較教育学の地平を拓く：多様な学問観と知の共働』東信堂、東京、2013 年 2 月。

Yamada, Shoko and Jing Liu (2011). "Between Epistemology and Research Practices: Emerging Research Paradigms and the Tradition of Japanese Comparative Education" in Weidman, John and William James Jacobs (Eds). Beyond the comparative: Advancing Theory and Its Application to Practice A Festschrift in Honor of Rolland Paulston. Rotterdam: Sense Publishing. 371-393.

平成 21~24 年度 科学研究費補助金(基盤 A)助成事業研究報告書「発展途上国教育研究の再構築：地域研究と開発研究の複合的アプローチ」、2014 年 3 月。

- 「途上国教育研究の再構築：地域研究と開発研究の複合的アプローチ」座談会(討論者：杉村美紀、服部美奈、森下稔、山田肖子、山内乾史)
- モルディブ調査の目的・意義・経緯 地域研究と開発研究の再構築を求めて (森下稔)
- 島国における教育選択 モルディブ共和国における生徒のケンブリッジ国際教育課程修了認定試験の成績決定要因 (山田肖子、Krishna Pangeni)
- 小規模国家モルディブにおけるイスラーム教育の展開 - グローバル・スタンダードと地域性の葛藤 - (服部美奈)
- 民主主義の定着過程における市民性教育の課題 モルディブの児童

- 生徒の現状から (森下稔)  
● モルディブ フィールド顛末記  
(鴨川明子)

〔産業財産権〕  
出願状況(計 0件)

取得状況(計 0件)

〔その他〕  
ホームページ:

<http://www.gsids.nagoya-u.ac.jp/syamada/Comparaitve%20Education%20Studies.html>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

山田 肖子 (YAMADA, Shoko)  
名古屋大学大学院国際開発研究科・准教授  
研究者番号: 90377143

### (2) 研究分担者

森下 稔 (MORISHITA, Minoru)  
東京海洋大学海洋工学部・准教授  
研究者番号: 60300498

### (3) 研究分担者

服部 美奈 (HATTORI, Mina)  
名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教授  
研究者番号: 30298442

### (4) 研究分担者

黒田 一雄 (KURODA, Kazuo)  
早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・教授  
研究者番号: 70294600

### (5) 研究分担者

日下部 達哉 (KUSAKABE, Tatsuya)  
広島大学教育開発国際協力研究センター・准教授  
研究者番号: 70534072

### (6) 研究分担者

大塚 豊 (YUTAKA, Otsuka)  
広島大学大学院教育学研究科・教授  
研究者番号: 00116550

### (7) 研究分担者

北村 友人 (KITAMURA, Yuto)  
東京大学院教育学研究科・准教授  
研究者番号: 30362221

### (8) 研究分担者

西村 幹子 (NISHIMURA, Mikiko)  
国際基督教大学教養学部・上級准教授

研究者番号: 20432552

### (9) 研究分担者

小松 太郎 (KOMATSU, Taro)  
上智大学総合人間科学部・教授  
研究者番号: 20363343

### (10) 研究分担者

乾 美紀 (INUI, Miki)  
兵庫県立大学環境人間学部・准教授  
研究者番号: 10379224

### (11) 研究分担者

鴨川 明子 (KAMOGAWA, Akiko)  
山梨大学教育学研究科・准教授  
研究者番号: 40386545

### (12) 連携研究者

澤村 信英 (SAWAMURA, Nobuhide)  
大阪大学大学院人間科学研究科・教授  
研究者番号: 30294599